

令和4年度各部会の取り組みについて

- 高齢者部会
- 子育て部会
- CSW部会
- SC部会
- 災害対策部会

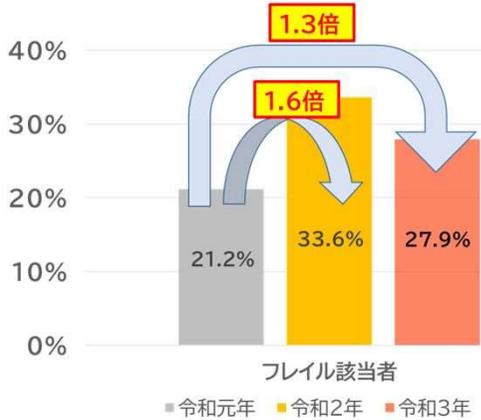
フレイルチェック及びフレイル測定機器活用の促進について



課題 ◆ ①【フレイル測定機器の継続的な活用の促進】

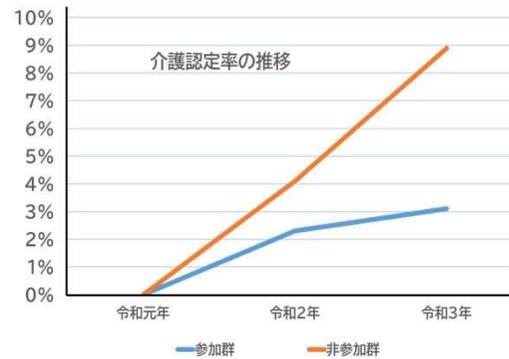
Plan

- 【区民ひろばの既存利用者および利用したことのない区民へフレイル対策機器を周知、数値改善方法の理解を啓発・自主的継続的な測定を促進する】
- 【区民ひろば職員との連携強化】
- 【フレイルチェックの場で周知強化。全圏域への拡大】



令和元年度～令和3年度のフレイル該当者割合

・フレイル該当者の割合はコロナ禍前である令和元年度に比べて令和3年度では**1.3倍増加**している。
・令和2年度では外出頻度・人とのつながりの低下など**心の健康が低下した人が増加**していたが、令和3年度では片足立ち上がり、握力の低下など**筋力が低下した人が増加**している。



令和元年度～令和3年度の新規の介護認定率の推移

・令和元年度にフレイルチェックに参加した群・参加しなかった群について2年後の新規の介護認定率を比較したところ、**非参加群の方が3倍多く介護認定**されていることが判明した。

フレイルチェック及びフレイル測定機器活用の促進について

Do

- 【18か所で東京都理学療法士協会による**機器活用講座を実施**】
- 【**区民ひろば職員向け**に、設置意義の啓発、測定方法、改善方法アドバイスを実施し、理解を促す。（まちの相談室巡回時、活用方法のレクチャーを実施）】
- 【フレイル対策機器の**測定回数の把握方法**について検討】
- 【区民ひろばとの連携強化を目的に、**フレイルチェックの会場として区民ひろばに拡大。時期・エリア別の偏向を改善。**
（令和4年度はしっかりチェック15箇所、かんたんチェック12箇所予定）】



◆フレイル対策機器活用講座の様子

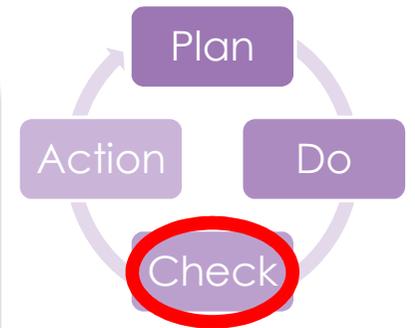


◆フレイルチェック

フレイルチェック及びフレイル測定機器活用の促進について

Check

- フレイル対策機器活用講座を実施回数も増加し、機器の利用に繋がった。
16回の開催（ザリッツ8回、歩行姿勢8回）
講座の開催参加者人数は140名（ザリッツ79名、歩行姿勢61名）
- フレイル対策機器**活用回数933回**（※ザリッツ・歩行姿勢測定器、講座以外集計）
活用については、区民ひろば間でばらつき有。
- **フレイルしっかりチェック** 全36回開催/**区民ひろば開催13回（36%）**
全参加者317名中/**区民ひろば参加者114名（36%）** **フレイルリスク減！**
- **フレイルかんたんチェック** 全20回開催/**区民ひろば13回開催（65%）**
全参加者163名/**区民ひろば参加者104名（64%）**
- **高齢者福祉課事業の資料作成及び説明会を全区民ひろばで実施し、事業への理解が深まった。**



フレイルリスクの減！



- ①フレイルリスク有の割合が、**コロナ禍前に戻りつつあり、フレイルチェック等を継続実施**する。
- ②**フレイル機器の活用**は、区民ひろば間で格差があり、**有効活用に向けた連携の強化**を行う。
- ③高齢者福祉課の事業説明会実施により、**相互理解も深まったため、次年度も継続実施**する。

フレイルチェック及びフレイル測定機器活用の促進について

Action

- ギリツ導入している区民ひろば 10 か所に、新たにギリツと連動する体組成計を導入するため、機器活用を促進し、フレイル予防の普及啓発につなげる。
- **フレイル機器活用講座**を開催することで、フレイル機器の活用のきっかけや、正しい測定方法の周知へとつなげる。**令和5年度18回開催予定。**
- **区民ひろばでしっかりチェック実施を拡大**することで、より区民にとって身近なフレイル予防の実現を目指していく。
(**しっかりチェック15箇所→21箇所**、**かんたんチェック12箇所→3箇所**)
- フレイル機器測定について、**区民ひろば職員向けのスキルアップ講座**の開催を検討する。
- **年度当初に、次年度の事業を反映した高齢者福祉課事業説明資料の作成及び、各区民ひろばでの説明を実施する。**



◆フレイル機器活用講座（歩行姿勢）



◆フレイル対策機活用講座（ギリツ）



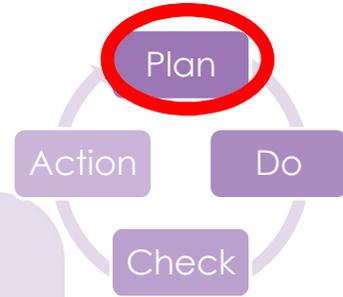
高齢者部会

区民ひろばとの連携強化（介護予防・フレイル対策）

区民ひろばへのアウトリーチ事業の拡大について

◆前年度の課題◆

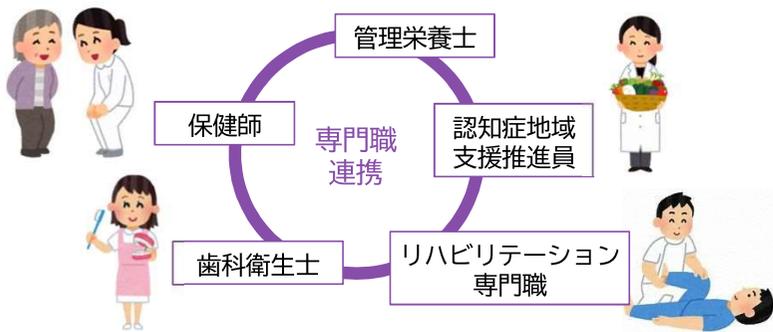
②【まちの相談室・高齢者総合相談センターによる出張相談の認知度・参加者数の向上】



Plan

- 【専門職巡回（まちの相談室）を継続】
- 出張相談（高齢者総合相談センター）の周知と参加者数の向上】
- 【アウトリーチ（出前講座）の強化】
- 総合事業の区民ひろばへの展開・拡大（身近な場での住民主体の通いの場の支援）

身近な場所で相談が可能に（まちの相談室・高齢者総合相談センター）



アウトリーチを主軸に



まちの相談室・高齢者総合相談センターによる出張相談の認知度・参加者数の向上

Do

- 【月1回全区民ひろばへの専門職巡回（まちの相談室）を継続】
- 【出張相談（高齢者総合相談センター）の周知活動の継続と、フレイルチェック等来場者の多い事業との同時実施による認知度・参加者数の向上】
- 【アウトリーチ（出前講座）にモバイル講座を追加し3回開催、高齢者のICTリテラシーを促進へ】
- 【ヒアリングフレイルチェックの年間計画を作成し、まちの相談室との同時開催を調整】
- 【総合事業通所B（つながるサロン）の拡充及び短期集中通所型サービスの区民ひろばでの新規実施】



◆まちの相談室（専門職巡回）



◆高齢者総合相談センターの周知活動・出張相談



◆総合事業通所Cのコーチング

区民ひろばへのアウトリーチ事業の拡大について

Check

- **まちの相談室 165回開催（集団指導2,100名、個別相談598名）**
主な相談内容：既往歴、食事内容、フレイル機器測定結果の相談等
- **出張相談**
246回開催、周知人数(2,878人) 相談者(244人)](上半期実績)
主な相談内容：暮らし全般、一般施策、健康・医療、介護保険の相談等
- **アウトリーチ（出前講座）144回開催/区民ひろば103回 71.5%**
（平均1か所5回開催）
- **スマホ講座 10回開催（90人）/区民ひろば 3回（40名）参加 30%**
- **ヒアリングフレイルチェック 50回開催（254人）/区民ひろば 32回（159人）**
64% 言語聴取率60%未満の方33%
- **つながるサロン（15団体、約200名参加）**
- **短期集中通所型サービス2クール開催（1クール：週1回全12回）**
 - 参加者：仰高8名、高松10名 ⇒ 仰高参加者中、7名が区民ひろばへの通いを継続



◆モバイル講座



◆ヒアリングフレイルチェック

- ①各アウトリーチ事業は、前年度と比較し**参加人数も増加**しており、**引き続き連携し実施**する。
- ②総合事業の拠点の一つとして、区民ひろばで実施することで、より身近な場所で、質の高い、介護予防の実施が行えた。次年度も、**区民の身近な通いの場での介護予防を推進**する。
- ③**区民ひろばの独自事業との調整や役割分担等が、今後の大きな課題**であり、次年度に向け検討する。

区民ひろばへのアウトリーチ事業の拡大について

Action

- 引き続き区民ひろばと連携し、アウトリーチ介護予防・フレイル予防の継続。
- **ヒアリングフレイルチェックを全区民ひろばに拡大。（17箇所→22箇所）**
- つながるサロン：**区内に偏りなく団体を立ち上げるため、1区民ひろばあたり原則2団体を上限**に。つながるサロンが区民ひろばを利用するまでの流れをマニュアル化
- 出張相談（高齢者総合相談センター）の周知活動の継続と、**多世代来場者への働きかけによる認知度・参加者数の向上**
- 短期集中通所型サービス：全4クールに拡充し、「ちょっと前の自分」に戻り、区民ひろばを拠点として地域でいきいきと暮らす方を増やす。



◆ つながるサロン
モルック活動@高南第一



◆ 短期集中通所型サービス
@仰高



◆ 短期集中通所型サービス
@高松



◆ 出張相談

高齢者部会

区民ひろばとの連携強化（介護予防・フレイル対策）

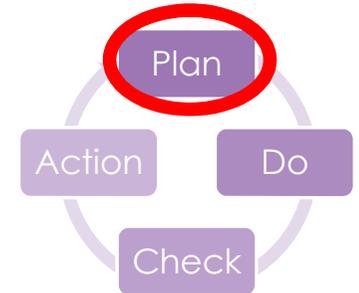
関係機関（高齢者の生活支援推進員（第二層生活支援コーディネーター）・CSW等）との連携

◆前年度の課題◆

③【関係機関（高齢者の生活支援推進員（第二層生活支援コーディネーター）・CSW等）との連携】

Plan

- **【高齢者福祉課・高齢者総合相談センター・CSW・社会福祉協議会**
- **高齢者の生活支援推進員との連携**を強化していく】



豊島区が目指す・地域ぐるみで介護予防事業を一体的に実施



◆ 関係各所と地域の担い手との交流会

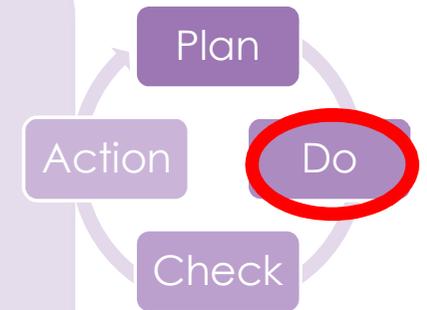
高齢者部会

区民ひろばとの連携強化（介護予防・フレイル対策）

関係機関（高齢者の生活支援推進員（第二層生活支援コーディネーター）・CSW等）との連携

Do

- 【区民ひろばにおける事業について、高齢者総合相談センター・CSW・高齢者福祉課間の情報共有の体制を構築】
- 【高齢者の生活支援推進員の育成・定例会議の開催による情報共有】
- 【高齢者の生活支援推進員がひろば職員や活動団体等を訪問して自主活動に関する情報を把握し、活動に興味のある地域の高齢者を区民ひろばに繋げる。依頼があれば自主グループの活動立ち上げ、居場所づくりの支援にも協力する。】
- 【自主グループ（つながるサロン） 立上げ支援、誰でも食堂（お弁当配布）、ベンチプロジェクトによるベンチの設置、地域の担い手の交流会開催、買い物移動支援のモデル実施などを継続する。】
- 【地域デビュー促進講座・イベント実施等の企画】



通所B（大塚サロン）の立ち上げ支援



だれでも食堂

高齢者部会

区民ひろばとの連携強化（介護予防・フレイル対策）

関係機関（高齢者の生活支援推進員（第二層生活支援コーディネーター）・CSW等）との連携

Check

- 情報共有提供・関係づくり
33回（カフェ運営会議への参加、利用団体への情報提供、活動の相談等）
- 自主グループ活動支援 26回
- **自主グループ立ち上げ支援 2件（うち1件立ち上げ済）**
- スマホ講座・相談会 12回



- ① 高齢者総合相談センター・CSW・高齢者福祉課間の情報共有の体制として、第二層生活支援コーディネーター主催の定例会を開催し、**区民ひろばでの事業開催を含めた地域での生活支援サービスの構築に向けて情報共有及び検討**を行った。**区民ひろばでのサロンの立ち上げ等強化**する。
- ② 区民ひろば上池袋でのスマホ講座・相談会開催、区民ひろば高松でのスマホ相談会開催など、**生活支援の実施場所**として、区民ひろばが重要な役割を示した。次年度は、生活支援体制整備事業及び**デジタルシニア育成事業等の連携を強化**する。

高齢者部会

区民ひろばとの連携強化（介護予防・フレイル対策）

関係機関（高齢者の生活支援推進員（第二層生活支援コーディネーター）・CSW等）との連携

Action

- **カフェ運営など区民ひろば主催事業への協力**（利用者集め、自主グループ立ち上げへのサポート）
- 区民ひろば利用者や自主グループへの情報提供・交換や関係づくりの継続
- **スマホ相談会をはじめとする、ひろばの利用者向けのサポートやイベントの企画の実施**



◆（スマホ相談会）

子育て部会

資料番号1-2

子育て事業の充実（子ども若者課）

◆課題◆

安全安心な子どもの遊び場と、子育て世代のつながりを確保する。

Plan

- 子どもや保護者の安全確保しながら出張プレーパークを実施し、普段と違う体験機会を提供する。
- 未就園児とその保護者や、園庭のない私立保育園の園児を対象に、安全・安心な遊び場を提供し、イベントなどで子育て世代の地域のつながりを促進する。



区内各地に
子どもの遊び
の場が広がっ
ています。

◆池袋本町プレーパーク事業



◆出張プレーパーク (南長崎はらっぱ公園)

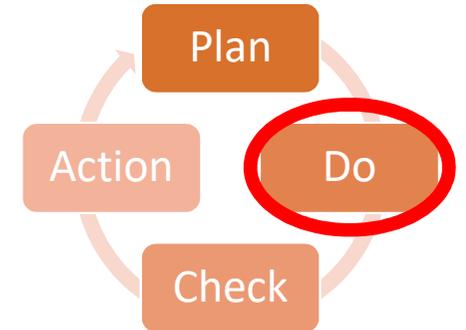


子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

Do

- コロナ禍で利用者が限定できる公立保育園を中心に出張プレーパークを実施し、区民ひろばでも出張プレーパークを2回程度開催する。



◆ 区民ひろばにおける出張プレーパークの開催（令和元年度実施）

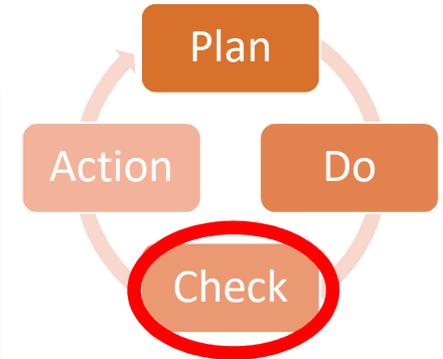


子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

Check

- 計画時点でコロナ感染者増加傾向にあったため、昨年度に引き続き屋内の不特定多数の区民が利用する施設での実施を見送り、区立保育園中心に実施した。
- 参加した保育園の満足度を確認するためアンケートを実施した。
 - ➡アンケート提出済みの保育園はすべて『とても満足した』だった。
 - 「子どもたちが自由に発想豊かに遊ぶ姿から、今後の保育にも活かしていきたいと感じた。」
 - 「豊富に素材（段ボール、クラフトテープ、チョーク、シャボン玉等）を使って子どもたちが自由に製作を楽しむことができた」、「おうちに帰ってから『ロープにのぼって楽しかった』『おうちを作って遊んだ』などと話していたとの感想があった。」



※「出張プレーパーク」実施した保育園のアンケートでは満足度は高い結果がでました。



◆出張プレーパーク事業（南長崎花咲公園）



子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

Action

- 安全安心な子どもの遊び場と、子育て世代のつながりを確保するため、来年度は工夫をしながら区民ひろばでの「出張プレーパーク」を、年間2施設程度、計画的に実施する。
 - ➔区民ひろばやスキップにも7月頃希望調査を行い、計画的に実施する。
 - ➔屋外で参加者を限定できる区立保育園を中心に実施する。



◆区民ひろばにおける「出張プレーパーク」の継続実施



◆参加者へのアンケート結果を活かして実施



子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

◆課題◆

中高生の世代間交流及び地域参加を促進する。

Plan

- 中高生の世代間交流を推進する。
- 中高生の地域参加を促進し、将来の地域活動を担う若者を育成する。



◆中高生の地域参加の促進



◆中高生センタージャンプ東池袋&長崎

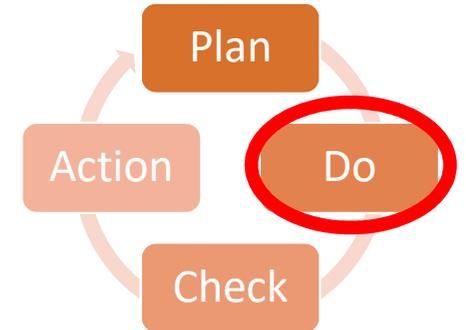


子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

Do

- 中高生が、ひろばイベント（区民ひろば朋有・区民ひろば長崎・区民ひろば富士見台）に参加する。
- 中高生が、中高生センタージャンプ東池袋・長崎で地域との交流イベントを開催する。



◆ひろば縁日への参加（区民ひろば朋有）



◆ジャンプ長崎10周年イベント



◆サマー☆フェスティバル実施2022」



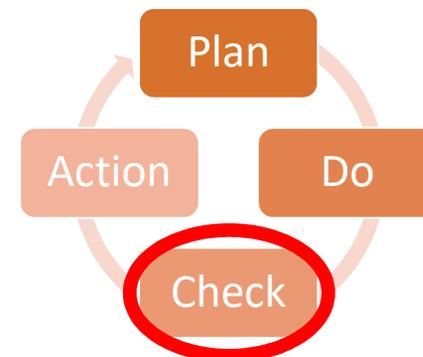
写真は令和元年度のもの

子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

Check

- 中高生の**地域活動参加者数の集計結果**。
- 中高生の地域活動参加者数(令和5年2月末)
中高生センタージャンプ東池袋・・・5回延べ93名(ひろば朋有縁日参加ほか)
中高生センタージャンプ長崎・・・25回延べ126名(長崎獅子舞ほか)
☞参加した中高生から「楽しかった」「色々な年齢の方々と話せる機会になって嬉しかった」など声が聞かれた。
☞中高生が地域で活動できる場を再開することができ、中高生の地域参加を促進することができた。



◆ 区民ひろば朋有やフレイルとの連携

◆ 中高生による地域参加活動（区民ひろば朋有縁日参加）（千早文化創造館イベント出演）（長崎獅子舞参加）



子育て部会

子育て事業の充実（子ども若者課）

Action

- 区民ひろばやフレイル、及びジャンプのイベントなどでボランティア活動等を行うことにより、中高生の地域活動への参加を促進して、将来の地域活動を担う若者を育成する。
- 区民ひろばやフレイルと連携し、中高生と乳幼児親子、中高生と高齢者など世代間交流を推進する。



◆ 中高生による地域参加活動



◆ 区民ひろばやフレイルとの連携



子育て部会

子育て事業の充実（子育て支援課）

◆課題◆

区民ひろばと連携した子ども・子育て家庭支援の推進

Plan

- コロナ禍が続く中で、社会的孤立や困窮リスクが大きいひとり親家庭等への支援
- 子育て支援課が実施している事業の周知・利用促進



区民ひろば

子育て支援課



連携強化

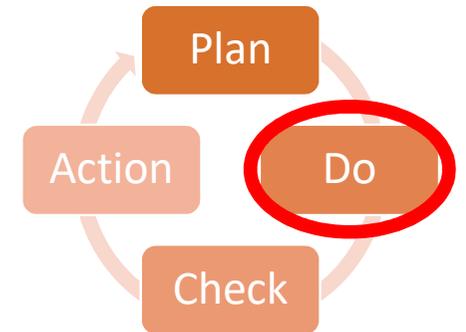


子育て部会

子育て事業の充実（子育て支援課）

Do

- 令和2・3年度に引き続き、区民ひろばを拠点とした、ひとり親家庭等への食品提供事業を実施した（12月と2月）。
- 子育てインフォメーション、ファミリー・サポート・センター事業のリーフレットを各区民ひろばに設置した。
- 9月から子育て支援課（子育てインフォメーション）で開始した、母子保健アプリ「としまもっと見る知る」での子育てイベント情報発信において、各区民ひろばの毎月の行事予定を掲載した。



ライス！ナイス！プロジェクト



「としまもっと見る知る」

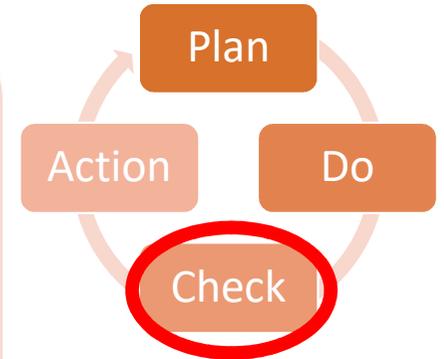


子育て部会

子育て事業の充実（子育て支援課）

Check

- 区民ひろば各所での食品提供件数（来所者数）、アンケートを分析し、今後の事業のあり方について検討する。➡「ライス！ナイス！プロジェクト」（12月と2月に実施）では、**約80%以上が区民ひろばでの受け取りとなった**。本事業により、区民ひろばで委託先NPO法人が実施している食糧支援とあわせると、月1回の定期的な支援が実現した。
- チラシ配布数や情報発信件数と、事業実績から効果を分析し、次年度に向けての情報発信策を検討する。➡ファミリー・サポート・センターの援助会員養成講座募集チラシ・ポスター（6月・11月）、子育てインフォメーションのリーフレットを各区民ひろばに送付（各130部）、設置を依頼した。また、「としまもっと見る知る」で、区民ひろばでのイベント情報や毎月の行事予定の掲載を9月から実施し、子育て家庭への情報発信に努めた。



ファミリー・サポート・センター
養成講座チラシ

「ライス！ナイス！プロジェクト」
配付実績

| 会場 | 12月 | 2月 |
|------------|-----|----|
| 区民ひろば駒込 | 13 | 12 |
| 区民ひろば清和第一 | 18 | 21 |
| 区民ひろば西巣鴨第二 | 12 | 13 |
| 区民ひろば上池袋 | 13 | 16 |
| 区民ひろば南池袋 | 13 | 13 |
| 区民ひろば高南第二 | 5 | 5 |
| 区民ひろば池袋 | 10 | 15 |
| 区民ひろば千早 | 40 | 48 |
| 区民ひろば富士見台 | 9 | 6 |
| 区民ひろば椎名町 | 23 | 19 |

| 会場 | 12月 | 2月 |
|------------|------------|------------|
| 区民ひろば仰高 | 7 | 7 |
| 区民ひろば朝日 | 11 | 13 |
| 区民ひろば南大塚 | 38 | 39 |
| 区民ひろば豊成 | 31 | 29 |
| 区民ひろば目白 | 8 | 11 |
| 区民ひろば池袋本町 | 29 | 25 |
| 区民ひろば西池袋 | 18 | 18 |
| 区民ひろば高松 | 27 | 30 |
| 区民ひろば長崎 | 48 | 62 |
| 区民ひろばさくら第一 | 11 | 11 |
| 合計 | 384 | 413 |
| | 797 | |



子育て部会

子育て事業の充実（子育て支援課）

Action

- 食品提供事業については、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の状況を踏まえ、今後の事業について検討する。実施する場合は、支援が漏れなく行き渡るよう、区民ひろばとの連携強化を図る。
- 募集チラシや事業リーフレットの設置を継続するとともに、区民ひろばとの連携による効果的な事業周知方法を検討する。
- 「としまもっと見る知る」での情報発信については、区民ひろばとの調整を行いつつ、引き続き実施する。



事業実施時の連携強化



子育て事業の情報発信

- ◎チラシ、リーフレットの設置依頼を継続
- ◎「としまもっと見る知る」での情報発信については、区民ひろばとの調整を行いつつ、引き続き実施する



子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

◆課題◆

広く区民に対し、児童虐待防止の取り組みを推進する。

Plan

- 児童虐待防止の取り組みを、区民ひろばと連携して推進する。



◆児童虐待防止の取り組み（オレンジリボン運動）



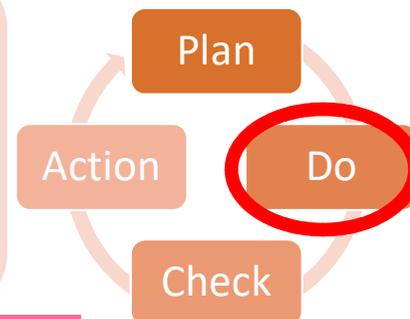
区民ひろばと連携し、虐待防止を推進する。

子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

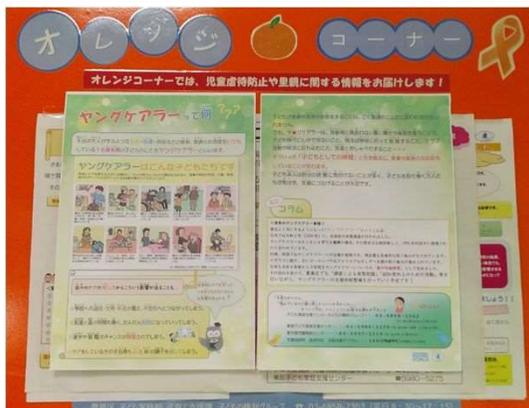
Do

- 「オレンジコーナー」内容を2か月ごとに年間6回更新
- 区民ひろば職員を対象に、「虐待防止出張講座」の実施
- としまオレンジリボンフェスタ（区政90周年記念で児童虐待防止事業の拡大実施）講演会やイベントの周知
- 区民ひろば職員を対象にヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査



◆オレンジコーナー

分かりやすい内容で児童虐待防止等の情報を発信



◆虐待防止出張講座

事例等を用いた虐待防止勉強会



◆ヤングケアラーに対するアンケート

日ごろから子どもやその家族と密接に関係を持つ施設職員の認識や対応についての調査

◆としまオレンジリボンフェスタ

事業チラシの配付、ポスター掲示



区政90周年記念事業

としまオレンジリボンフェスタ関連イベント

- 区民大会 R4.10.28
- 区民講演会 R4.10.31（演劇上映・リレートーク）
- 虐待防止街頭キャンペーン R4.11.20
（キャンペーングッズを活用した街頭呼びかけ）
- 養育体験発表会 R4.11.26
- 子育てサポートフェスタ R4.12
（子育てに関するイベント）

子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

Check

- 区民ひろばに設置された「オレンジコーナー」の 6回更新（テーマ：子ども置き去りしないで・ヤングケアラー・教育虐待・児童虐待防止推進月間、豊島区児童相談所開設、体罰によらない子育て）
区民ひろば利用者の感想：QRコードからの感想を募集も開始するが、現時点でなし
- 区民ひろば職員向け「虐待防止出張講座」の 開催数4回および参加者数41人の集計と感想を分析（※アンケート回答数：40）
- ヤングケアラーへの対応に関する関係施設職員アンケートの 回答を集計し分析
アンケート実施 8月15日～ 9月15日 回答結果分析中



★区民ひろば職員向け出張講座のアンケート★

- 外国籍、日本語がうまく話せない子ども・保護者への対応について
- 定期的に職員が学ぶ機会が必要
- ヤングケアラーについて具体的な話が聞きたかった。
- 虐待について、子ども保護はもちろんであるが、保護者（家庭）への支援も大切であることが分かった。
- 研修後虐待対応への不安軽減につながったという回答が40人中39人



子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

Action

- **区民ひろば職員との情報の共有** 区民ひろば所長会に年度初めに子家職員が参加し、児童虐待防止・ヤングケアラー支援についての普及啓発活動チラシ配布・オレンジコーナー設置や虐待防止講座等の説明を実施し、全施設に情報共有する。
- **「オレンジコーナー」の掲示にQRコードの貼付**
感想や意見を手軽に送れるようにメッセージ送付画面につながる。掲示をみたその場での感想や意見を参考に内容を充実するとともに事業やイベントにも活かす。
- **区民ひろばを利用した区民向け「虐待防止出張講座」の実施**
これまで受講したひろば職員の方も参加し、区民が気軽に参加ができる虐待防止に対する理解促進・普及啓発を図る。
- **ヤングケアラー支援、普及啓発の区民ひろば連携事業の検討** ヤングケアラー支援
に向けて、ヤングケアラーコーディネーターをR5.4月採用予定。区民ひろば職員・CSWと連携しヤングケアラー支援・講座などの普及啓発活動を行う。



区民ひろばとの連携 出張講座（虐待防止・ヤングケアラー支援）

オレンジコーナーの感想や意見をQRでメール送信できるように変更し、今後の内容に活用！

区民への普及啓発活動の連携

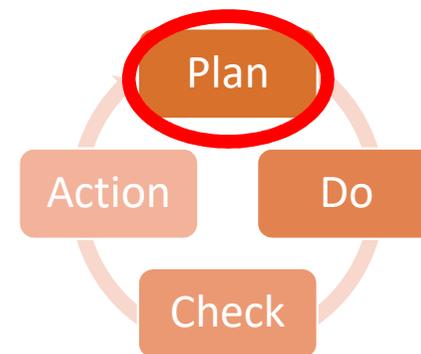


子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

◆課題◆

子ども家庭支援センターのアウトリーチ事業の効果的な周知方法と実施内容の検討



Plan

- アウトリーチ事業（おでかけ相談・あそんで相談）の効果的な周知方法と実施内容を検討する。

◆アウトリーチ事業の効果的な周知と実施



育児相談 東部子ども家庭支援センター

おでかけ相談 問い合わせ 電話 9 9 0 - 5 2 7 5

| 区町村名 | 曜日 | 日時 |
|------|----|------------------------------|
| 伊豆 | | 11:15~11:45 6/9(木)-2/9(木) |
| 磐田 | | 10:30~11:30 11/30(木)-1/25(木) |
| 南大塚 | | 10:30~11:30 7/22(金)-2/24(金) |
| 清和第二 | | 10:00~11:00 6/10(金)-1/23(月) |
| 西条第二 | | 11:00~12:00 6/28(火)-1/20(火) |
| 豊城 | | 10:30~11:30 9/6(火)-1/17(木) |
| 新田 | | 10:30~11:30 8/15(月)-1/13(金) |
| 上野原 | | 10:30~11:30 5/13(金)-2/10(金) |
| 赤松本町 | | 10:30~11:30 4/13(木) |
| 赤松 | | 10:00~11:00 10/7(金) |
| 赤松 | | 10:30~11:30 4/19(金)-9/27(水) |
| 南河内 | | 10:30~11:30 7/27(木)-2/22(木) |
| 高南第二 | | 10:30~11:30 7/12(木)-11/25(金) |
| 藤田 | | 11:00~12:00 6/23(木)-11/24(木) |
| 妻 | | 11:00~12:00 5/27(金)-3/24(金) |
| 権左町 | | 15:30~16:30 5/17(木)-2/7(火) |
| 千早 | | 10:30~11:30 7/20(金)-8/17(木) |
| 高松 | | 10:00~11:00 8/30(木)-1/24(水) |
| 松山第二 | | 10:30~11:30 10/12(木) |

育児相談 西部子ども家庭支援センター

おでかけ相談 問い合わせ 電話 5 9 6 6 - 3 1 3 1

| 区町村名 | 曜日 | 日時 |
|------|----|----------------------------------|
| 磐田 | | 10:00~11:30 7/14(木)PT-12/22(木)PT |
| 南大塚 | | 10:00~11:30 4/21(木)-9/29(木) |
| 清和第二 | | 10:00~11:30 4/28(木)-10/13(木) |
| 西条第二 | | 10:00~11:30 5/26(木)PT-3/9(木) |
| 豊城 | | 10:00~11:30 2/16(木) |
| 新田 | | 10:00~11:30 5/12(木)-1/12(木) |
| 新田 | | 10:00~11:30 6/30(木) |
| 上野原 | | 10:00~11:30 10/27(木)PT-3/23(木) |
| 赤松本町 | | 10:00~11:30 7/28(木)-3/16(木) |
| 赤松 | | 10:00~11:30 6/9(木)PT |
| 赤松 | | 10:00~11:30 8/22(木)PT |
| 高南第二 | | 10:00~11:30 1/26(木)PT |
| 藤田 | | 10:00~11:30 9/15(木)PT-1/19(木) |
| 妻 | | 10:00~11:30 6/16(木)-10/20(木) |
| 妻 | | 10:00~11:30 7/21(木)-1/24(木)PT |
| 権左町 | | 10:00~11:30 4/14(木)-12/15(木) |
| 千早 | | 10:00~11:30 11/19(木) |
| 高松 | | 10:00~11:30 1/9(木) |

子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

Do

- 東部子ども家庭支援センターのアウトリーチ事業「おでかけ相談」を、18か所の区民ひろばで35回実施する。
- 西部子ども家庭支援センターのアウトリーチ事業「あそんで相談」を、18か所の区民ひろばで29回実施する。
- 相談内容に応じた対応・情報提供を実施する。
- センターだよりおよびSNSにアウトリーチ事業の実施予定を掲載し、子育て訪問時などにも積極的に周知を行なう。



センターだよりやSNSを活用し周知活動を推進します。
適切な情報提供を実施します。

| アウトリーチ事業 開催予定 | | |
|---------------|------------------|------------------|
| 【主催】 | 東部子ども家庭支援センター | 西部子ども家庭支援センター |
| 【事業名】 | おでかけ相談（育児相談） | あそんで相談（発達相談） |
| 【実施予定数】 | 区民ひろば 18か所 35回実施 | 区民ひろば 18か所 29回実施 |



子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

Check

「おでかけ相談」の実施回数および相談件数

⇒令和4年度1月末現在 18か所 28回 82件

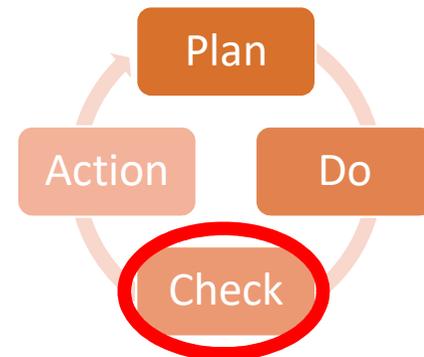
★ うち来館・講座参加につながった件数 10件

「あそんで相談」の実施回数および相談件数

⇒令和4年度1月末現在 17か所 26回 71件

★ うち発達専門相談につながった件数 14件

来館時顔を知っている職員がいることで安心できたとの感想多数



おでかけ相談



あそんで相談



心理 20回 21件
ST 4回 7件
PT 5回 9件

◆相談対応や
情報提供の実
施内容を検証

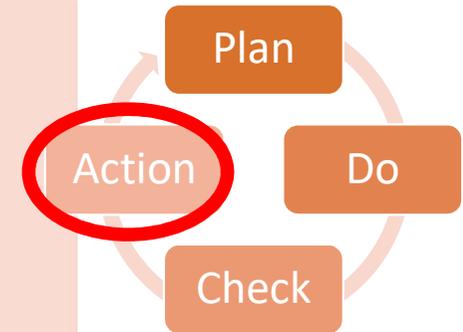


子育て部会

子育て事業の充実（子ども家庭支援センター）

Action

- （東西子ども家庭支援センター共通）
センターだよりやSNSを活用しアウトリーチ事業の周知を継続する。
区民ひろば所長会で事業の説明をすることで事業への理解の深化を目指す。
- （東部子ども家庭支援センター）
相談内容に応じセンターの専門相談や関係機関につなげていく。また子育てに関する情報をよりわかりやすく提供する。
- （西部子ども家庭支援センター）
エリアごとに1回ずつは、発達専門相談員（STもしくはPT）が同行し、専門性を高めた相談対応を展開する。



◆アウトリーチ事業の効果的な周知と実施の継続



◆専門相談および関係機関への紹介

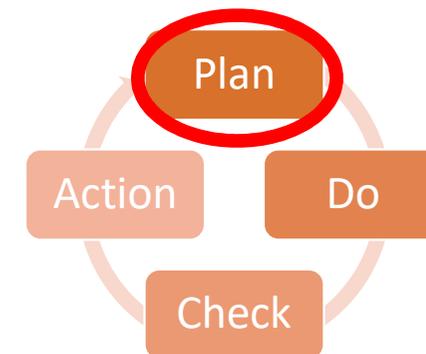


子育て部会

発達支援事業の拡充（子ども家庭支援センター）

◆課題◆

- ・西部子ども家庭支援センターの発達相談件数の増加に伴い、専門相談を受けられるまでに3～4か月の待機期間がある。
- ・西部子ども家庭支援センターの相談室が不足し、今以上の相談枠の増設が困難。

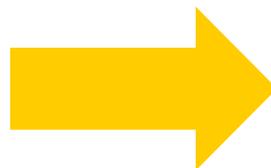
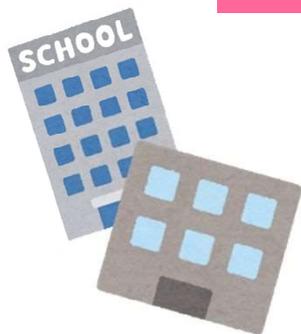


Plan

- ・徒歩圏内の区民ひろばで、西部子ども家庭支援センターの専門相談（言語療法、作業療法）を実施する。

◆西部子ども家庭支援センター以外で発達専門相談を検討

◆発達専門相談の待機期間短縮

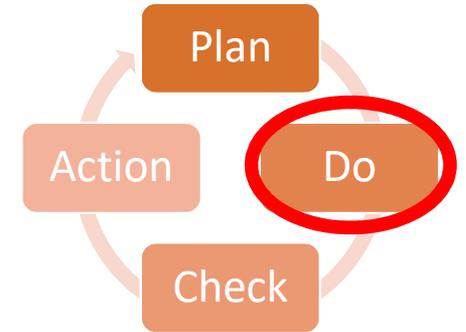


子育て部会

発達支援事業の拡充（子ども家庭支援センター）

Do

- 令和4年9月より、区民ひろばさくら第二、区民ひろば千早の2か所で週1日、西部子ども家庭支援センターのサテライト会場を設置。
- 待機期間が生じている「作業療法」「言語療法」について、サテライト会場での相談、指導を実施し、それぞれ月20件、合計月40件の相談枠を増設。
⇒待機期間を短縮させる。



◆2か所の区民ひろばにご協力を得る



区民ひろばさくら第二
・月4日
・作業療法士の
専門相談を実施

区民ひろば千早

・月4日
・言語聴覚士の
専門相談を実施



◆専門相談枠の増設

作業療法士専門相談:20件
言語聴覚士専門相談:20件

計:月40件分の増設!

子育て部会

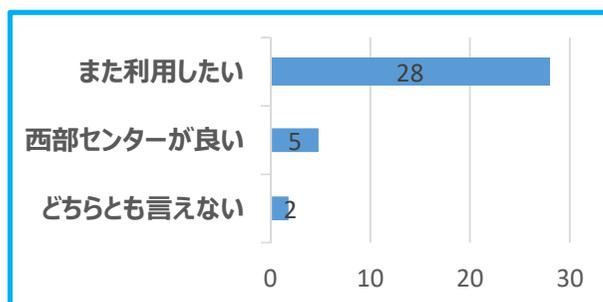
発達支援事業の拡充（子ども家庭支援センター）

Check

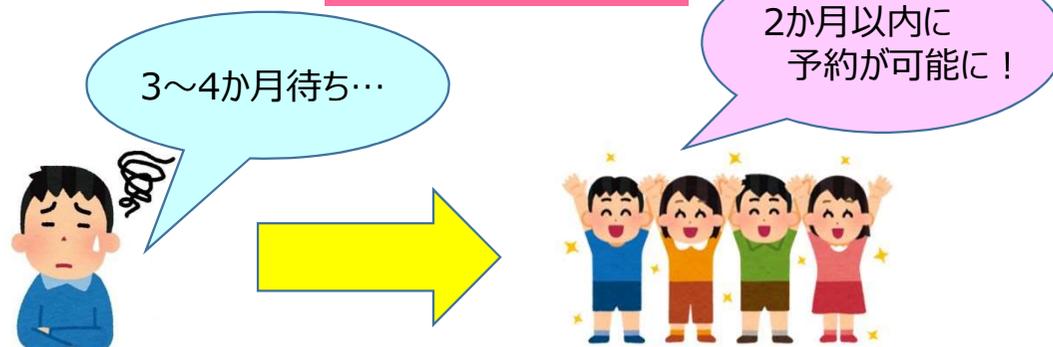
- 利用者のアンケートより（35人回収）80%の方が「また区民ひろばでの相談を利用したい」と回答。 良かった理由として予約が早く取れた…69%、場所が良い…31%、等であった。
- 初回の専門相談の予約が取りづらく、3～4か月待ちになる利用者が作業療法士（OT）言語聴覚士（ST）共に65%いたが、OTは23%、STは18%に減り、待機期間が大幅に改善され予約が取りやすくなった。（令和4年12～令和5年1月分集計）



◆ サテライト会場での専門相談について



◆ 予約状況について



子育て部会

発達支援事業の拡充（子ども家庭支援センター）

Action

令和5年度は・・・

- 4年度増設分（作業療法士4日、言語聴覚士4日）を継続実施し、初回相談者への早期対応をしていく。
- また、継続相談についても待機期間短縮に向けて、専門相談枠を計16日分増設予定。センター以外のサテライト会場も追加で検討。



令和5年度も、サテライト専門相談を継続。早期対応をしていきます。

◆サテライト会場の追加検討

区民ひろばさくら第二
区民ひろば千早 に加え・・・
区民ひろば要
区民集会室長崎第4
区民集会室長崎第5
などご相談させていただきつつ検討中。

専門相談の待機期間短縮について引き続き、実績をもとに検証していきます。



子育て部会

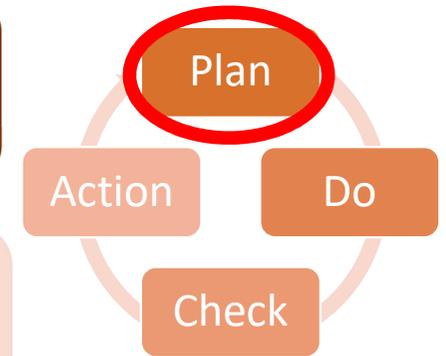
子育て事業の充実（保育課①）

◆前年度の課題◆

区民ひろばを利用する保育園の利用実態の把握

Plan

- 保育園が貴重な遊び場として区民ひろばを利用している実態を把握・分析することは、区民ひろば、保育園双方にとって有用である。
- 新型コロナの感染状況や保育園の区民ひろば利用状況等を勘案しながら、利用実態の把握を行う。

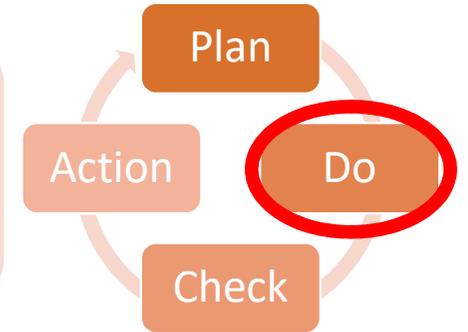


子育て部会

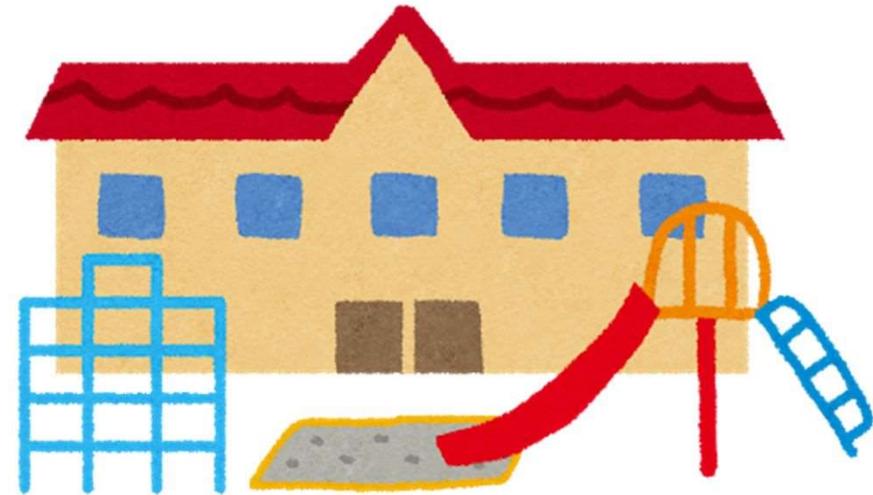
子育て事業の充実（保育課①）

Do

- コロナ禍での利用時における工夫等も把握するなど、区民ひろばの日常利用の実態について、公立・私立保育園にアンケート調査等を実施する。



◆区民ひろば等の日常利用の実態調査



子育て部会

子育て事業の充実（保育課①）

・ **区立保育園17園**を対象に、保育園の遊び場としての区民ひろばの利用状況等を調査した。

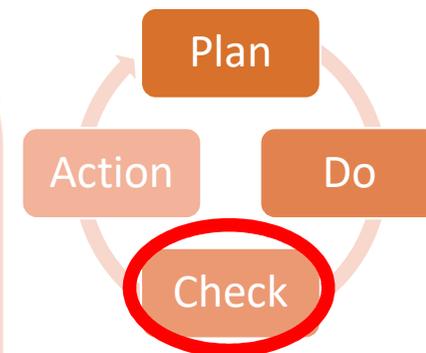
- ◆ 普段の保育で区民ひろばを利用してる園
- ・ **17園中9園**
- ・ **利用しているひろばは11施設**

- ◆ 利用する歳児・時間帯・利用回数
- ・ **0歳児から5歳児まで目的に応じて利用**
- ・ **主な利用は午前中**
- ・ **年間で数回の園がほとんど**

- ◆ 利用する主な理由・良い点
- ・ **保育園にない遊具が魅力的**
- ・ **普段できない遊びを経験**
- ・ **寒い時期の散歩時の遊び場**
- ・ **地域の親子やおとなとの交流**
- ・ **公共施設でのマナーや使い方**

- ◆ 利用していない主な理由
- ・ **コロナ禍で利用を控えている**
- ・ **保育園から少し離れている**
- ・ **地域の親子や私立園と重ならないよう遠慮している**
- ・ **散歩時は公園での外遊びをメイン**

- ◆ 今後の意向等
- ・ **連絡を取り合い気持ちよく利用**
- ・ **コロナ次第であるが積極的に利用**
- ・ **他園とも気兼ねなく交流できれば**



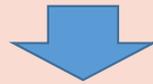
利用回数や
利用内容などを
集計し分析

Check

子育て部会

子育て事業の充実（保育課①）

- ・ **区民ひろばは保育園にとっての貴重な遊び場**であるが、コロナ禍における利用控えや、地域の親子やおとなの交流を期待しつつも、利用が重ならないよう遠慮する状況なども見られた。



Action

- ◆ 保育園が区民ひろばを利用している実態を把握・分析することは、区民ひろば、保育園双方にとって有用である。
- ◆ 調査内容に工夫を加えながら、適切な時期に効果的に実施できるよう引き続き検討する。
- ◆ 私立保育園については、コロナ禍における利用控えの状況等から今年度の調査を見送ったが、園庭のない保育園も多く、状況を把握するため、令和5年度は実施する方向で検討していく。



子育て部会

子育て事業の充実（保育課②）

◆前年度の課題◆

子育て支援の充実に向けた、関係部署および関係機関との連携強化および「在宅子育て世帯」へのアプローチ

Plan

- 子育て支援における保育園の専門性・人材の有効活用の観点から、区民ひろばと保育園双方が可能な範囲で出張講座等を実施する。
- 「孤育て」を防ぐなど、コロナ禍におけるマイまいくえん事業の役割を踏まえつつ、区民ひろばとの連携、協力を推進する。



◆関係部署・機関との連携強化

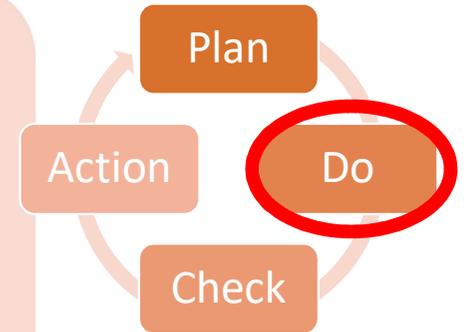


子育て部会

子育て事業の充実（保育課②）

Do

- 区民ひろばにおいて、看護師講座、保育園タイムなどの「出張講座」や出張育児相談を実施する。
- 区民ひろばでのマイほいくえん事業のチラシの配架とともに、出張講座時などでマイほいくえん事業のPRを行う。
- 実施事業を把握するため、区民ひろばと各保育園において、事業スケジュールや事業内容を共有する。



◆ 区民ひろばにおける出前講座の実施



子育て部会

子育て事業の充実（保育課②）

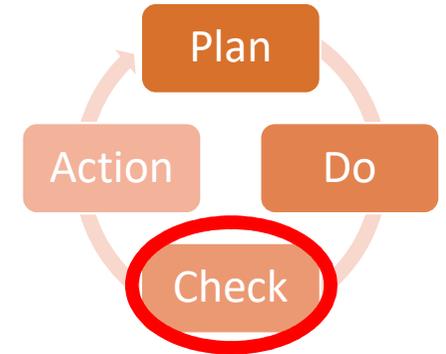
Check

◆区民ひろばにおける出前講座の状況

- **区民ひろばへの出張講座**は17園中 **5園が実施**した。令和3年度の4園実施から**今年度は1園増加**している。
- **出張先は6施設、講座数は延べ25回**。
- 看護師や保育士が訪問し、看護師講座、保育園タイム、すくすくタイムなどを開催。受講者は1月末現在で延べ232組となっている。
- 普段利用している施設で看護師や保育士に育児相談などができるほか、**保育園を身近に感じてもらえる機会**となっている。

◆マイほいくえん事業の状況

- **マイほいくえん事業**では、今年度も各区民ひろばにおいて**PR用リーフレットを配架**してもらった。マイほいくえん登録者は着実に増加しており、**区民ひろばで事業を知った**という方も多くいた。
- 令和5年1月末現在の本登録者数は339名、マイほいくえんに新規に登録する方は、0歳が74%、1歳が19%となっている。



子育て部会

子育て事業の充実（保育課②）

◆区民ひろばにおける出前講座

- ◆子育て支援における保育園の専門性・人材の有効活用の観点から、引き続き区民ひろばと保育園双方が可能な範囲で「出張講座」を実施していく。



Action

◆マイほいくえん事業の状況

- ◆コロナ禍を考慮し、利用者アンケートは見送ったが、子育て支援に対する評価・意向等を把握するため実施方法等について検討し、マイほいくえん事業の効果的な展開につなげていく。
- ◆マイほいくえん事業は、令和5年度から民間保育園にも拡大する。効果的なPRを図る上でも、**区民ひろばとの周知に係る協力体制を強化**していく。

◆マイほいくえん事業



子育て部会

【子育て事業の充実】（放課後対策課）

Plan

Action

Do

Check

◆前年度の課題◆

長期化するコロナ禍により、児童を中心とした地域の繋がりが希薄になり、子育ての連携を再構築する必要がある。

Plan

- 【交流】 22スキップと22区民ひろばが、それぞれの地域性を活かし、児童と地域の方が交流できる場をもつことで、顔の見える関係をつくる。
- 【地域文化の伝承】 SDGsの取組みなど、地域の方から学び、児童自身が地域の歴史や文化を大切にしながら、持続可能なまちづくりを目指す。
- 【情報交換】 地域の緊急情報を共有し相互で安全管理を行う。また、地域で支援が必要な家庭の情報を共有し、支援の役割分担をすることで、児童の健やかな育ちを保障する。



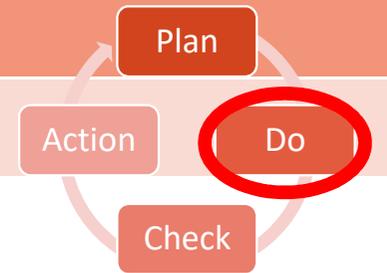
区民ひろばで育った笹でスキップが七夕飾り



区民ひろばかたりべの会 SDGs紙芝居で交流

子育て部会

【子育て事業の充実】（放課後対策課）



Do

- 【交流】22スキップが実施する行事等（ハロウィン・将棋大会・わらべうたなど）年1回以上、区民ひろばの利用者と交流できる機会を設定
- 【地域文化の伝承】
 - ①スキップだよりカラー版を区民ひろばに掲示し、各スキップが行っているSDGsの取組みを区民に周知
 - ②各地域の伝承していきたい文化や伝統をチョイスし、放課後子ども教室などを利用して、地域の方から児童へ伝えられる場を検討
- 【情報共有】
 - ①日常から不審者情報や学級閉鎖の情報をメールや電話を活用し、タイムリーに共有
 - ②地域子ども懇談会や学校運営協議会などで地域支援の現状と在り方を共有



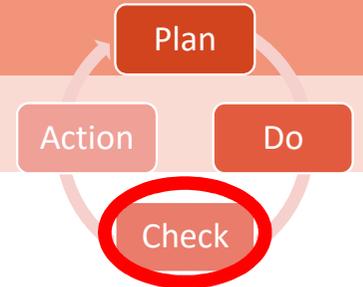
仮想をして区民ひろばへGO！



地域の文化・歴史を伝承

子育て部会

【子育て事業の充実】（放課後対策課）



Check

- 22スキップが区民ひろばと連携した行事と参加者数を計上し、交流の度合いを確認
- 子ども教室で地域文化に関する企画数と参加人数を集計し、取組のある地域をクローズアップして全施設に公表
- 緊急情報の共有件数及び個別支援件数報告により、連携状況を把握

Check 1

スキップ所長会において、本取り組みを周知し、各スキップで区民ひろばと連携可能な行事をチョイス

Check 2

スキップ所長と放課後子ども教室担当者の打合せを実施。地域文化を取込んだ企画を検討

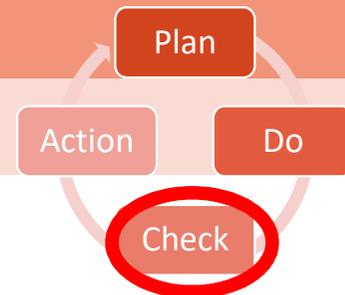
Check 3

緊急的な情報を共有するツールを相互で確認し、件数報告のフォーマット作成

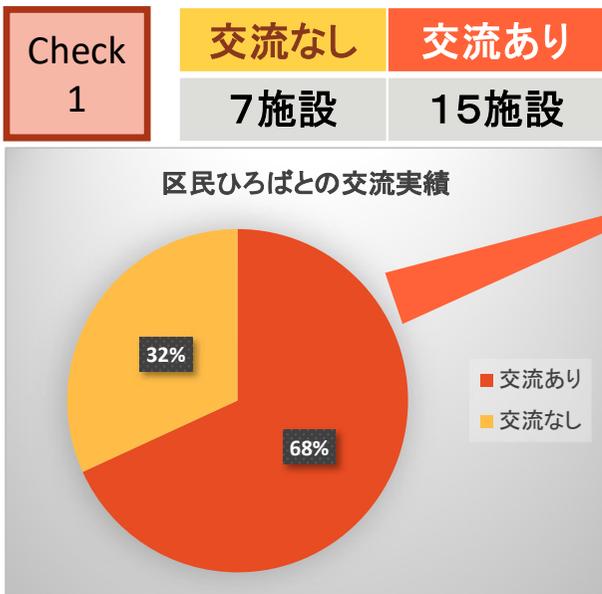


子育て部会

【子育て事業の充実】（放課後対策課）



コロナ禍以前からの交流状況



【交流実績】

- 区民ひろばまつりに参加 12か所
- 夏休みイベント(工作・映画会など) 3か所
- ハロウィンイベント 3か所
- 区民ひろば作品展ほか 4か所

トピック1

西巣鴨の交流

★コラボ事業

「出張よしもとSDGs劇場in 区民ひろば西巣鴨&子どもスキップ西巣鴨」を開催

トピック2

清和・椎名町・西巣鴨の交流

★施設をシェア

密を回避するために、雨の日や工事中にホールを活用させていただくことで交流できた

トピック3

千早の交流

★地域文化を伝承

SDGs紙芝居を通じて、千早地域の今昔話を聞く。

★情報をシェア

区民ひろばに訪れた高校生の活動をスキップにも繋いでいただき、子どもたちと楽しく交流



Check 2

放課後子ども教室の交流状況

コロナ禍以前は・・・

【駒込・朝日・目白・富士見台・高松】区民ひろばまつりで交流

【駒込】 絵手紙教室をひろばの利用者が指導

現状！

コロナ禍以降、子ども教室の交流ができていない



Check 3



緊急に情報共有するツール一覧と共有シートの利用について、スキップ所長会で周知。令和5年度実施に向け準備する。

子育て部会

【子育て事業の充実】（放課後対策課）



Action

- 【交流】スキップ、放課後子ども教室のコロナ禍前にできていた交流はもとより、**児童と地域の方が、さらに顔の見える関係づくりを構築**する。
- 【地域文化の伝承】放課後子ども教室の企画検討の中で、区民ひろばを活用し、**各地域に伝わる文化を児童に伝承する機会をについて検討**する。
- 【情報共有】感染症、気象、不審者情報等、地域で起きた出来事を迅速に相互共有することで、**地域児童の安全確保に努める。**

令和5年度の取り組み

【交流】

- ①スキップ×ひろばの交流事業を、年間1回以上実施
例：ハロウィン・工作・手品・〇〇大会など
- ②区民ひろばまつりに参加、協力
- ③放課後子ども教室の交流再開



It's New

【情報共有】

- ①情報共有できる**ツールの一覧表**を作成し、各施設で所持する
- ②共有が手軽にできるよう**「共有シート」**を作成
- ③**「共有管理簿」**で内容・件数を把握

CSW部会

資料番号1-3

区民ひろば・CSWの連携強化

◆前年度の課題◆

これまで、エリア別連絡会や区民ひろば職員へのCSW活動紹介などを行っていたが、コロナ禍により十分に実施できていない。そのため、区民ひろばとCSWの連携方策の検討や、課題共有などができていない。

Plan

- 区民ひろば、CSWがお互いの事業・活動への理解を深め、連携強化を図る。

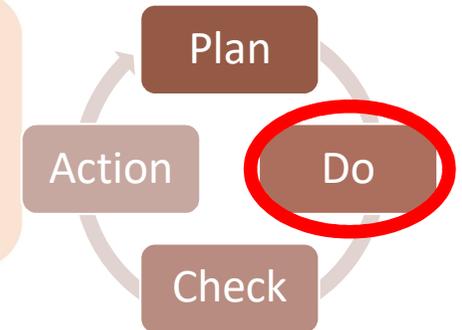


CSW部会

区民ひろば・CSWの連携強化

Do

- 各区民ひろばの職員向けに、区民ひろば職員会議などを活用して、CSWの活動紹介（区民ひろばでの相談・連携事例など含む）を実施（各区民ひろば年1回）
- 各圏域内の全区民ひろばとCSWで、エリア別連絡会を実施（年1回、12月）



エリア別連絡会

- 年1回・12月開催予定
- 8圏域ごと

- 区民ひろば西巣鴨第一
- 区民ひろば南大塚
- 区民ひろば朋有
- 区民ひろば高南第二
- 区民ひろば西池袋
- 区民ひろば池袋
- 区民ひろば富士見台
- 区民ひろば千早

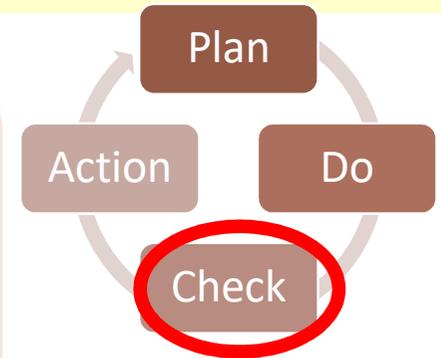


CSW部会

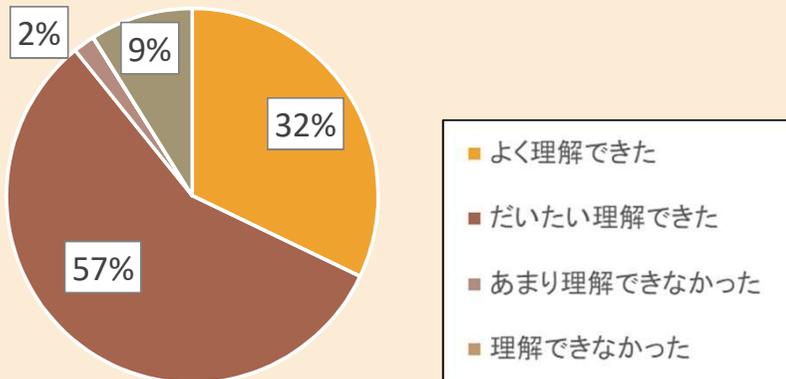
区民ひろば・CSWの連携強化

Check

- 区民ひろば職員へのCSW活動紹介後に、CSWの活動に関するアンケートを実施して、理解度の確認や具体的な連携方法などについて、意見集約を行う。
- エリア別連絡会で作された課題を整理して、部会にて改善策や新たな取り組みなどを検討する。



アンケートの実施【CSWの理解度】



エリア別連絡会

- ◆ 区民ひろばに来られなくなった方や、区民ひろばにまだつながっていない方がいる。
- ◆ 子育て世帯、ひきこもりの方、50～60代の男性等、地域には他にも孤立傾向になる層がいる。
- ◆ どの区民ひろば利用者からもスマホに関する相談が増えている。
- ◆ 区民ひろば職員は、区民ひろばの外に出て地域の状況を把握することが難しい。

CSW部会

区民ひろば・CSWの連携強化



Action

- 区民ひろばとCSW等の連携強化
 - ・年度当初に、区民ひろば職員に向けてCSWの活動紹介をする。
- 地域で孤立傾向のある方への対応強化
 - ・区民ひろばとCSWで心配な方の情報共有を図り、区民ひろばにどう繋げていけるか等の対応方法を検討。
 - ・区民ひろば8か所で、気軽にふらっと立ち寄れて、誰でも利用できる集いの場を開催。
- スマホ相談への対応充実
 - ・スマホに関する個別ニーズに対応し、スマホ教室を22か所の区民ひろばで実施。
- 地域の社会資源の情報発信
 - ・「CSWだより」やSNS（ピアッツァ、ツイッター等）を活用する。
- タブレットの活用
 - ・区民ひろばに配布されるタブレットを活用した取組みを検討していく。

【区民ひろばでのS P（セーフティプロモーション）の充実】

◆前年度の課題◆

安全・安心に関する情報提供の強化

Plan

- セーフコミュニティ及びISSに関する掲示等を行っていない区民ひろばもあるため、全区民ひろばにセーフコミュニティの9つの重点課題及びISSに関する掲示を行う。

Do

- 全区民ひろばの掲示物と配布物の現状の調査を行い、掲示等を行っていない区民ひろばに掲示を行う。



SC部会

【区民ひろばでのS P（セーフティプロモーション）の充実】



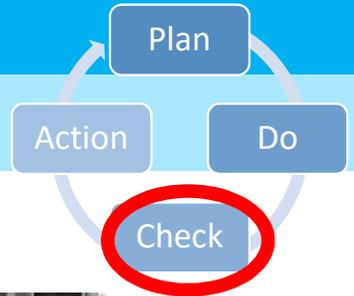
Check

- 各区民ひろばでの情報提供について、重点課題別に前年度との比較を行い、どのくらい掲示物と配布物が増えたかを確認する。

| | 重点課題 | ①掲示物(ポスター) | | | ②配布物(チラシ) | | |
|----|-------------|------------|----|------|-----------|----|------|
| | | 当初 | 目標 | 今年度末 | 当初 | 目標 | 今年度末 |
| 1 | 子どものけが・事故予防 | 22 | 26 | 22 | 9 | 26 | 9 |
| 2 | 自転車利用の安全 | 19 | 26 | 26 | — | 26 | — |
| 3 | 繁華街の安全 | 13 | 26 | 13 | 14 | 26 | 14 |
| 4 | 児童虐待の防止 | 12 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 |
| 5 | DVの防止 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 |
| 6 | 高齢者の安全 | — | 26 | — | 20 | 26 | 26 |
| 7 | 障害者の安全 | 6 | 26 | 26 | 7 | 26 | 26 |
| 8 | 地震災害の防止 | — | 26 | — | 11 | 26 | 11 |
| 9 | 自殺・うつ病の予防 | — | 26 | — | 7 | 26 | 26 |
| 10 | ISS | 7 | 26 | 26 | 3 | 26 | 26 |

SC部会

【区民ひろばでのS P（セーフティプロモーション）の充実】



評価

- ・対策委員会の掲示物と配布物の数は増加
- ・区民ひろばで、見やすい掲示や手に取りやすいような配架などの工夫をされていることを確認

季節の装飾を飾り、目を引くようにしている



区民ひろば南池袋

高齢者向け、子ども向けなど掲示場所をわかりやすく分けている

数が多いのでファイルに綴り、椅子に座って見られるようにしている



区民ひろば西巣鴨第一

重要なものは平置きや事務所受付前に配架

日付を意識し、探しやすい配架を心がけている

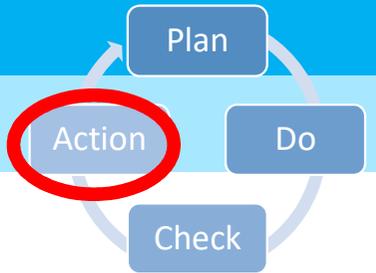
2/15部会による課題の抽出

<ひろば所長・事務局長から出された意見>

- ・配布数にのみ着目するのではなく、どのようなメッセージを伝えるかが大切ではないか。
- ・SCの概念から入るとわかりにくい。「けが・事故をなくすためにどうしたらよいか」という視点で発信することが必要。
- ・受け手がどのように受け取ったかわかるとよい。
- ・SC推進室と区民ひろばのコミュニケーションの機会がもっとあった方がよい。互いにアイデアを出し合えると思う。

SC部会

【区民ひろばでのS P（セーフティプロモーション）の充実】



Action

- どのような発信の仕方があるか、必要な情報をどう伝えるか、区民ひろばとSC・ISS担当と一緒に検討を行う。
- 情報提供の効果を測定するため、アンケートを実施する。

1. SC・ISSと区民ひろばが連携し、区民ひろば利用者にわかりやすい告知内容を検討
2. 周知強化月間による集中的な発信
3. 情報提供の効果測定のため、アンケートを実施
4. 区民ひろば職員のSC・ISSに関する理解を深めるため、研修を実施

災害対策部会

資料番号1-5

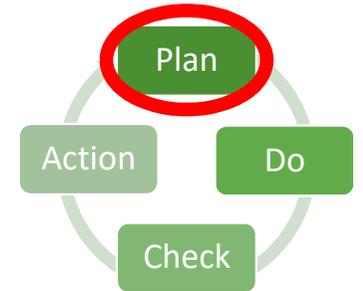
区民ひろばにおける災害対策の推進

◆課題◆

昨年度までに整備したマニュアル等を踏まえ、感染症対策を踏まえた補助救援センターにおける開設・運営訓練を行う必要がある。

Plan

- より実践的な内容の補助救援センター開設・運営訓練を **2地区の区民ひろばで運営協議議会の企画・運営により実施**し、防災力のさらなる強化を図る。
- 救援センターの **合同防災訓練に区民ひろば職員等が参加**し、救援センターとの連携を図る。
- 今年度実施した訓練を踏まえ、**マニュアルの検証を行う**。



【区民ひろばにおける補助救援センター開設・運営訓練実施状況】

| | |
|--------------|---|
| 昨年度までに訓練実施完了 | 朋有、池袋、駒込、高松(利用者保護)、西巢鴨、上池袋、高南、長崎(利用者保護)、要 |
| 今年度に訓練実施 | 豊成、仰高 |
| 訓練未実施 | 南大塚、清和、朝日、池袋本町、西池袋、南池袋、目白、椎名町、富士見台、千早、さくら |

災害対策部会

区民ひろばにおける災害対策の推進

Do

- コロナ禍での対応を盛り込み改定した補助救援センター開設・運営マニュアルを踏まえ、**IP無線を利用した通信訓練や運営調整会議実施訓練**など、より実践的な内容の開設・運営訓練を**区民ひろば豊成、仰高で実施し、マニュアルの検証を行う。**
- 他の区民ひろばの職員、運営協議会、NPO法人も**訓練に参加する。**



区民ひろば仰高

- 実施日 令和5年1月21日（土）
- 参加者 34名（職員＋運協等）



区民ひろば豊成

- 実施日 令和5年2月25日（土）
- 参加者 76名（職員＋運協等）



災害対策部会

区民ひろばにおける災害対策の推進

Check

- 各訓練実施し、マニュアルの見直しや配置設備の運用方法の効率化など **新たな課題の洗い出し**を実施。
- 救援センター開設・運営訓練に参加し、**補助救援センターと救援センターとの違い**や、**救援センターの訓練に参加して気が付いたことを検討**。



訓練実施後の検討会及びアンケートからの意見（抜粋）

【推奨事項】

- 実際に訓練をすることで、実災害時の体制を理解することができた。
- 運営にお互い助け合いながら乗り切ることが大切だと分かった。
- 運協とひろば職員のチームワークが素晴らしかった。

【検討事項】

- 居住スペースの仕切りについて検討が必要。
- トイレ袋使用後の処理について検討が必要。
- 実際はもっと混雑すると思うので、目で見てわかる表示が必要。

【その他】

- かなり訓練しないと補助救援センターとして機能しない。
- チームワークや役割分担は日ごろから構築しておくべき。

【検討会の様子】



災害対策部会

区民ひろばにおける災害対策の推進

Action

- 令和4年度に実施した訓練を来年度も継続して実施するとともに、**救援センター開設運営訓練にも参加することで、実災害の際の体制について理解を深めるとともに、各区民ひろばで準備を進める。**
- 訓練で把握した課題や気づき（アイデア）等をマニュアルに取り入れるなどにより、**実態に即したマニュアルとする。**



補助救援センター開設・運営訓練

- 引き続き補助救援センター開設・運営訓練を実施し、知識・理解を深める。

(計画案)

令和5年度は3カ所で実施

補助救援センター訓練…2カ所

利用者保護訓練……………1カ所

マニュアルの整備

【マニュアル整備】

- 今年度実施した訓練で抽出した意見や来年度実施する訓練での意見をもとに補助救援センターマニュアルの修正を行う。

【マニュアル検証】

- マニュアル整備再度訓練を実施し、検証する。
- 検証後改善点等を先出し、さらに整備を行う。

スケジュール

